

植物友の会活動記録

田川朋男

はじめに

植物友の会は、一般から募集した植物に興味を持つ人達の集まりで、植物公園を活動の場として、植物愛好者の集い、植物・園芸に関する知識・技術の向上を図り、自然保護の心を育てることを目的に、昭和54年10月に設立された会である。

会費は、個人会員が年額2,000円、家族会員が年額3,000円、法人の賛助会員が年額5,000円となっている。10月1日以降に入会の場合は、年会費を半額にする規定を設けていて(賛助会員は除く)、今年度10月以降の入会は2人の申込があった。

平成19年3月現在、会員数は個人会員が221人、

家族会員が57組133人、企業等の賛助会員が15団体である。

活動(表1、2)

(1) 例会・運営委員会

2ヶ月に1回、植物公園で開催され、植物についてのビデオ、スライドや栽培講習、園内の案内、種苗交換などを実施した。今年度からは新たに第1回、第4回の例会で、園内の見所をコース分けして案内する企画を実施した。この企画は大変好評であったが、案内を行なうガイドが少なく、また時間配分なども不足していたので、来年度からは事前に調整を綿密に行い、園芸作業を次の例会に先送りするなどする必要がある。

また、例会の事前調整が必要なことから、例会前に打ち合わせを行ない、例会後も、運営委員会(委

表1.平成18年度 植物友の会事業記録

1.行事の開催

月 日	事務事業	場 所	内 容		備 考
平成18年 4月8、9日(土、日)	講習会ボランティア	大温室前広場	さくらまつり	活動紹介、物品販売	会員10名
4月29日(土)					会員8名
5月12日(金) 9時30分～12時	山草部会 展示準備	展示資料館ロビー	山草部会展示物搬入		部会員16名 職員1名
5月13日(土)～14日(日)	山草部会展示	展示資料館ロビー	山草部会展示		部会員16名 95点出品
5月14日(日) 13時20分～15時	例会①	植物公園講堂	園内観察(樹木、ロックガーデン、日本庭園、温室コース) 夏の園芸作業		会員97名 職員2名
5月25日(土)	観察会	庄原市東城町上帝釈	上帝釈の植物 講師：広島大学理学部助教授 山口富美夫氏		会員42名 職員2名
7月9日(日) 13時20分～15時	例会②	植物公園講堂	スライド「園内で見られる鳥や蝶の話」 報告者：三輪昇氏(友の会会員)		会員72名 職員2名
8月26日(土) 10時～12時 13時～15時	講習会①	植物公園講堂及び小会議室	クラフト作り 講師：藤井かおり氏 コケ玉作り 講師：今村撰氏		会員5名 会員20名
9月1日(金)	展示会準備	展示資料館	植物友の会作品展搬入		会員34名、職員1名
9月2日(土)～ 9月7日(木)	展示会	展示資料館	植物友の会作品展		展示監視14名、 会員32名 180点出品
9月3日(日) 13時20分～15時	例会③	植物公園講堂	スライド「花と昆虫の不思議な関係」 報告者：園長 石田源次郎 秋の園芸作業		会員104名 職員2名
10月21日(土)	観察会	山県郡北広島町	八幡湿原の植物 講師：広島大学大学院助教授 中坪孝之氏		会員39名 職員2名
10月29日(日)	講習会ボランティア	大温室前広場	秋のグリーン フェア	木の実のクラフト 指導：会員4名	一般参加者61名
11月3日(木)				ハーブの香り袋作り教室 指導：会員9名	一般参加者60名
11月12日(日) 13時20分～15時	例会④	植物公園講堂	冬の園芸作業 園内案内(花の進化園+菊花展、どんぐり、 カエデ園、温室コース)		会員66名 職員2名
平成19年 1月14日(日) 13時20分～15時	例会⑤	植物公園講堂	スライド「ランに関する話」 報告者：園長 石田源次郎		会員81名 職員2名
3月11日(日) 13時20分～15時	例会⑥	植物公園講堂	総会 春の園芸作業及び園内植物観察		会員83名 職員2名

2. 会誌「はなの輪」の発行

平成18年4月	2006年 通巻第107号	平成18年8月	2006年 通巻第108号
平成18年10月	2006年 通巻第109号	平成19年2月	2007年 通巻第110号

月 日	内 容	参加人数	月 日	内 容	参加人数
4月8日	活動紹介、物品販売	6名	9月3日	友の会作品展準備	2名
4月9日	〔さくらまつり〕	4名	9月5日	友の会作品展、秋のグリーンフェア準備	8名
4月29日	活動紹介、物品販売〔さくらまつり〕	8名	9月7日	友の会作品展	6名
その他4月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		45名	9月9日	夜間開園キャンドル点灯	2名
5月1日	はなの輪、例会案内発送	8名	9月14日	モザイカルチャー管理	9名
5月14日	例会準備、友の会花壇	3名	9月18日	モザイカルチャー管理	2名
5月16日	友の会花壇	4名	9月20日	秋のグリーンフェア準備	2名
その他5月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		22名	9月23日	夜間開園キャンドル点灯	4名
6月6日	モザイカルチャー管理	8名	9月28日	モザイカルチャー管理	11名
6月12日		2名	その他9月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		17名
6月14日		1名	10月12日	モザイカルチャー管理	6名
6月14日		2名	10月17日	グリーンフェア準備	5名
6月17日	例会通知発送	4名	10月19日	グリーンフェア準備	2名
6月20日	モザイカルチャー管理	5名	10月25日	はなの輪、例会案内発送	5名
その他6月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		14名	10月26日	モザイカルチャー管理	8名
7月4日	友の会花壇	4名	10月28日	グリーンフェア手伝い	3名
7月9日	例会準備、友の会花壇	3人	10月29日	グリーンフェア手伝い	4名
7月13日	モザイカルチャー管理	5名	その他10月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		22名
7月18日	親子植物教室準備	2名	11月3日	葉拓画教室(グリーンフェア)	9名
7月26日	親子植物教室	2名	11月7日	モザイカルチャー管理	3名
7月27日	モザイカルチャー管理	7名	11月8日	自然体験学習補助他	4名
その他7月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		14名	11月12日	クリスマス飾るフラワー展準備手伝い	3名
8月1日	モザイカルチャー管理	6名	11月15日	自然体験学習補助	6名
8月10日	友の会講習会	3名	11月21日	クリスマス飾るフラワー展準備手伝い	5名
8月24日		3名	11月24日	クリスマス飾るフラワー展準備手伝い	3名
8月26日		3名	11月27日	友の会花壇植え替え	3名
8月28日	はなの輪、例会案内発送	2名	その他11月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		19名
その他8月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		15名	12月5日	モザイカルチャー管理	3名
9月1日	友の会作品展準備	4名	その他12月分(除草、植え替え、カスケード管理等)		5名
9月2日	夜間開園キャンドル点灯	4名		計	312名

員8人)を開き、事業の執行計画や予算などについて毎回話し合った。

(2) 講習会

年1回。会員の藤井かおり氏と今村撰氏によって木の実のクラフト作りやコケ玉作りを実施した(写真1)。

(3) 観察会

年2回春と秋に、日帰りで実施。近郊の野山に出かけ、野性の草花や樹木を身近に観察するとともに、会員相互の親睦を図った。平成18年度は、春に庄原市東城町の上帝釈へ、秋には北広島町の八幡湿原へ出かけた。講師は、それぞれ広島大学助教授の山口富美夫氏と中坪孝之氏にお願いした(写真2)。

(4) 展示会

年1回秋に、鉢物、写真、絵、クラフトなどを出品し、友の会作品展として開催している。平成18年度は180点の出品があった。また、5月、山草部会が鉢物を中心にロビー展を開いた(写真3)。

(5) 園内ボランティア

植物公園において、表2のとおり、植栽、教室・講習会の指導、公園まつりの準備・販売・会誌の発

送作業などを実施、幅広く活躍されている。特にさくらまつりや秋のグリーンフェアには毎回参加され、花炭・絵ハガキなどの販売や、葉拓画・ハーブの香り袋作り教室の指導をし、また、毎月第1・3火曜日、第2・4木曜日は作業日としている。延べ人数は平成14年に72名、平成15年に140名、平成16年に223名、平成17年に312名、平成18年度に394名。ボランティア活動への理解が得られ、人数、回数が著しく増えている(表2、写真4)。

(6) 会誌の発行

植物に関する話題や会の活動、植物の栽培方法などを載せた会誌「はなの輪」を年4回発行、会員に配布している。

(7) 部会

山歩クラブと山草部会がある。

前者は、毎月1回例会として近郊の山に出かけ、年1回県外遠征、総会、懇親会を行い、年4回の会報を発行している。会費は年額3,000円である。後者は、年2回野外観察会や展示会、2ヶ月に1回例会を開いている。会費は年額1,000円である。



写真1. コケ玉づくり講習会 (平成18年8月26日)



写真4. 管理ボランティア (平成18年4月18日)



写真2. 観察会の様子 (平成18年10月21日)



写真5. 友の会花壇 (平成18年9月3日)



写真3. 友の会作品展 (平成18年10月21日)

主な課題と今後の方向

入会して間もない人の退会が依然として多く、新規の会員の獲得に努めたが、本年度は前年度と比較して会員数がほぼ横ばいとなった。今後は、会員のニーズに合った新しい様々な企画の立ち上げ、また会員の意識の変化にも対応した仕掛けなどによって、会員の満足度を上げ、会員の増加を図らなくてはならない。また、広島県西部だけでなく、東部方面にも広報を行い、新規会員の獲得を目指す。来年度からの新規会員獲得の試みとしては、①例会での園内案内をもっと充実させ、会員に植物公園の魅力や見頃を知ってもらい、何回も足を運んでもらうようにし、口コミによる会員の増加を図る。

② 山歩クラブ、山草部会に続く新たな部会を立ち上げ(写真部等)、会員の活動、懇親の場を広げ会員のニーズにあった企画の充実を目指す。

③ 例会等の行事や管理ボランティア時に無料でできるサービスや参加し易い行事を充実する。

などを実施し、大きなイベント(グリーンフェアなど)でPRする場を設ける。また、収入源の補完として、①例会時の販売の強化など。②会員による花壇苗の増殖と提供(花壇苗購入金額の削減)③会誌の内容や印刷経費の見直しを行って行く必要がある。

(8) 友の会花壇

園芸作業の講習を実際に体験でき、会員相互の交流が進み、友の会が魅力ある組織となっていくことを目的として、展示資料館横の花壇を平成17年度より友の会が管理することとなり、運営委員会が中心となって計画を策定した。平成18年度は春にパンジー、ビオラ、スイセンなど、夏はコリウス、フウセンカズラ、カンナなど、秋には会員によって増やしたクリスマスローズの苗を植栽した(写真5)。コンテナにはビオラやナカガワノギクなどを植栽した。しかし、植え替えなどの作業を手伝ってくれる会員が少なく、今後はいかに多くの人に関心を持ってもらえ、作業に参加し、苗の提供などを行ってもらうかを考える必要がある。